

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 学研データサービス

②施設・事業所情報

名称：	うみのくに保育園とつか	種別：	認可保育園
代表者氏名：	施設長 林 絵理香	定員（利用人数）：	60（61）名
所在地：	244-0805 神奈川県横浜市戸塚区川上町464-15		
TEL：	045-410-6690	ホームページ：	http://uminokuni-kids.cocolog-nifty.com/
【施設・事業所の概要】			
開設年月日	2015年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：	株式会社 空のはね		
職員数	常勤職員： 19名	非常勤職員：	9名
専門職員	保育士 22名	栄養士	2名
	看護師 1名	調理員	0名
	用務員 0名	保育補助	
施設・設備の概要	居室等 保育室・調理室・事務室・食堂	設備等	園庭・沐浴室

③理念・基本方針

- 家庭的で温もりのある「寄り添う保育」を行います。
- スタッフは保護者一人ひとりの子育てに寄り添いサポートします。
- 一人ひとりの個人差やそれぞれが感じる気持ちに寄り添った保育をします。

④施設・事業所の特徴的な取組

法人の理念の具現化として、系列園全てで0、1歳児は年齢ごとの保育を行い、2～5歳児では異年齢での縦割り保育を実施しています。少人数のクラス編成で愛情深く家庭的できめ細かな保育を行っています。異年齢での活動の中で、年下の子どもは年上の子どもから教わり、年上の子どもは年下の子どもに教え、兄弟姉妹のような関係性の中で日々成長していくことを目指しています。年上の子どもは年下の子どもに優しく接することで思いやりの気持ちをはぐくみ自然にお世話をしています。

園では子どもの人権の尊重に努め、一人ひとりの子どもを大切に保育しています。子どもが主体的に活動に取り組むための意欲がはぐくまれています。

また、土日祝日に出勤する家庭の子育て支援として、多様な働き方をする保護者を応援するために、休日保育の実施をしています。当日の延長保育も可能で、急な残業にも対応しています。

さらに法人として保育の質の向上に向けて、園ごとに毎月テーマを決めて「保育の質の向上研修」に取り組んでいます。例えば、園庭や室内の環境設定、年齢に応じた絵本やおもちゃの選定など、保育の質の向上に園全体で取り組み、大きな効果を上げています。その他、お楽しみプログラムなど、子どもたちが楽しめるさまざまなプログラムを提供しています

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2020年6月16日（契約日）～ 2021年1月20日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2019年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

○「事業計画チーム」の活動を通じて保育の質の向上に取り組んでいます

単年度の事業計画は、法人の中長期計画を踏まえながら、年度末に職員会議で話し合って課題を共有し、その課題解決に向けた内容として作成しています。計画の柱として、①ひとりひとりが輝きながら、お互いを大切に思いあえるチーム作り、②保育内容と環境構成の充実、③防災の強化の3点を掲げています。これを実現していくため、園内に3つの「事業計画チーム」を設置し、年間計画に沿って、それぞれ実践研究方式でテーマを深め、保育、チームワーク、リスク対策に生かすよう取り組んでいます。園ではチーム活動を通じて、保育の質の向上に取り組んでいます。

○言葉の大切さを子ども、保護者、職員で共有できる取り組みをしています

園の保育方針に「保護者と子どもが不安を和らげる優しい語りかけ」とあります。園の受付の上部には、みんなが思うふわふわ言葉を掲示する「ふわふわの木」のイラストを設置しています。絵本のふわふわ言葉とチクチク言葉を活用して、言葉の大切さを感じられるように取り組んでいます。子どもは「かっこいい」「かわいい」「お洋服が素敵」など、乳児でも気持ちがふわふわする言葉を感覚的に理解しています。難しくとらえるのではなくイメージとしてうれしい気持ちになったりする言葉の大切さを、全クラスの子どもの言葉を掲示して、自然な形で一人ひとりを大切にする気持ちがはぐくまれるような取り組みにつなげています。

◇改善を求められる点

○目標管理と個人別の研修計画の連携などについて、今後の検討を期待します

職員は、グレード（キャリアパス）に示す階層別の「求められる保育士の姿」を標準としながら、年度末に自己評価を行うとともに、次年度の目標の設定、当該年度の目標に対する達成度の評価・反省を行っています。さらに施設長は面接による助言などを通じて、個々の職員の自己評価、目標管理を支援するなど、キャリアパス、自己評価、目標管理を総合的に行う人材育成システムを運用しています。一方、キャリアパスに応じた研修受講は、園全体の研修計画に沿って行われています。職員個々の目標管理とリンクした形で、個人別の研修計画が作成されると、より一層、職業能力の開発に役立ちます。今後の検討を期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

今回の第三者評価の受審は、未だかつて経験したことのない、コロナ禍の中ではじまりました。ひとり一人自己評価をした上で、総まとめを園長が行っていく方向で全体の評価としました。個々の自己評価は、職員の理解度に差があることを改めて知ることができました。園として、全体的に振り返りをする中で、周知できていない点や、理解できていない点等、今後話し合いの場を設けて、園全体で共有していきたいと思います。

例年通り、保護者アンケートや、評価機関の方々に保育環境や内容等を客観的に見て頂いた事で、多くの気づきを頂けました事について大変感謝しております。

今後も、うみのくに保育園の保育理念・方針をもとに、「こどもの最善の利益」の為に、工夫し、向上心を忘れずに取り組んでいきたいと思ひます。